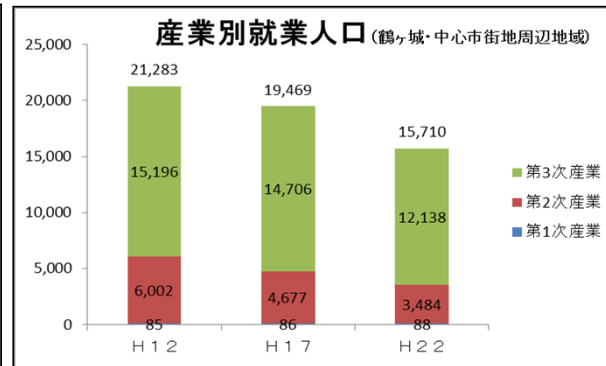
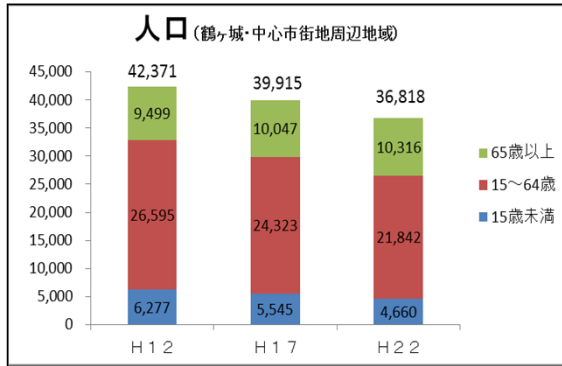


地区別ワークショップ資料（若松地区WS）鶴ヶ城・中心市街地周辺地域

<国勢調査より>



<国勢調査より>

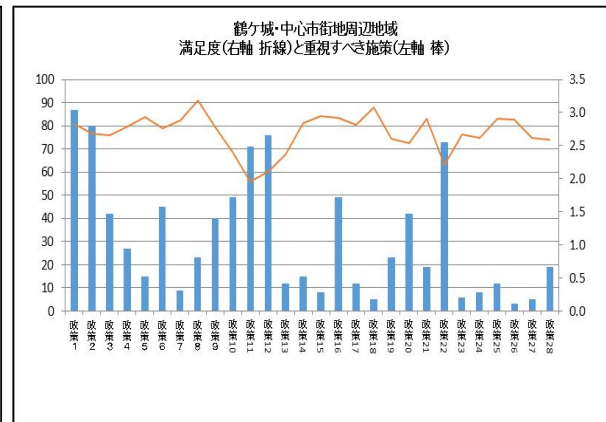
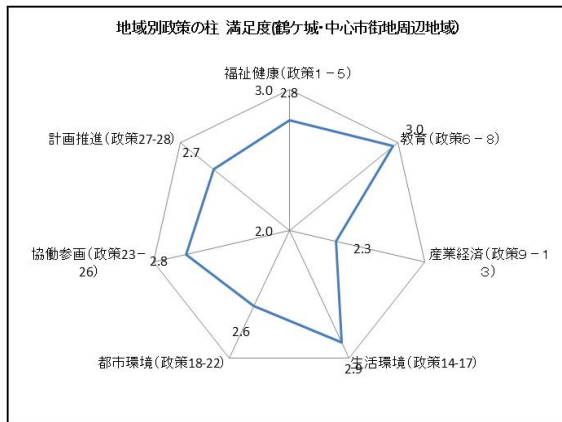
- この地域の人口は、10年で約13%減少しています。人口構成を見ると、老年人口が増加している一方、15～64歳の生産年齢人口が大きく減少していることがわかります。
- この地域の産業別就業人口は、10年で約26%減少しており、特に第2次産業就業者の減少割合が大きく（42%減）、第三次産業も20%減となっています。

<H26年度に実施した市民意識調査結果より>

- この地域の政策の柱別の満足度は、市全体と酷似し、少し下回っています。
- 産業経済分野の満足度が低く、教育分野の満足度が高くなっています。

<市民意識調査(H26)より>

満足度
3 普通
2 やや不満
1 不満



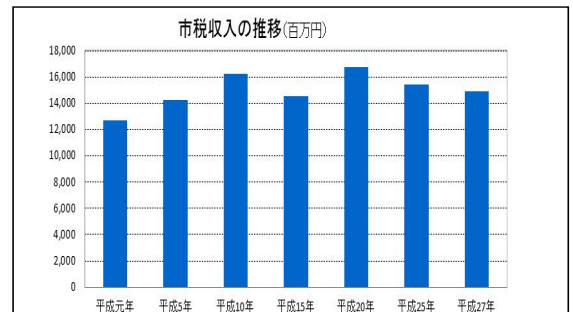
<H26年度に実施した市民意識調査結果より>

- 重視すべきと考えられている政策と満足度についても、市全体の傾向と酷似しています。
- 中心市街地活性化、雇用の安定的確保、雪対策については満足度が低く、重視すべき政策との認識が強くなっています。

【参考1】分野別政策

福祉健康	政策1)子育てしやすいまちをつくる 政策2)高齢者が元気にくらすまちをつくる 政策3)自立と社会参加を推進するまちをつくる 政策4)健康づくりが充実したまちをつくる
教育	政策5)誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる 政策6)豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる 政策7)スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる 政策8)歴史・文化を守り育てるまちをつくる
産業経済	政策9)観光を振興し活気のあるまちをつくる 政策10)商工業を振興し経済活力あふれるまちをつくる 政策11)中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる 政策12)雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる 政策13)生産性の高い農林業がいまづくまちをつくる
生活環境	政策14)環境と調和した地球にやさしいまちをつくる 政策15)環境への負荷が少ないまちをつくる 政策16)安全で安心できるまちをつくる 政策17)情報化の進んだまちをつくる
都市環境	政策18)花と緑にあふれるまちをつくる 政策19)快適な都市空間が形成されたまちをつくる 政策20)都市交通対策が進んだまちをつくる 政策21)身近な住環境が整備されたまちをつくる 政策22)雪に強いまちをつくる
協働参画	政策23)ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる 政策24)男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる 政策25)市民活動が活発なまちをつくる 政策26)連携と交流が盛んなまちをつくる
計画推進	政策27)評価システムによる行政運営を行う 政策28)効率的で効果的な行政運営を行う

【参考2】市税収の推移



- この地域は市の中心市街地に位置し、鉄道駅をはじめ、行政施設、業務施設などが多く立地しており、会津地域の中心地区としての役割を担っています。
- 市のシンボルである鶴ヶ城や城下町の風情を残す歴史的建造物、筋違い道路など、歴史と伝統を感じられるまちなみが多く残っています。
- 會津稽古堂、県立博物館、會津風雅堂、文化センターなどが集積しています。
- 中心地として居住者、観光客など多様な目的を持った人や物が集まる地域となっています。
- 地域の西側に会津若松駅があり、市の玄関口となっています。
- しかし、郊外における大規模商業施設の立地などにより、中心市街地の空洞化が進み、空き店舗や空き地が多く見られるようになり、拠点性が薄れつつあります。

(会津若松市都市計画マスタープランより)